

冬道の安全運転について

例年、これからの時期は、突然の降雪、吹雪による視界の悪化が原因の交通事故や路面凍結など路面状況の変化によるスリップ事故が発生する恐れがあります。

車間距離を十分にとり、安全なスピードで常に危険に対応できる運転を心がけましょう。

【ドライバー、同乗者の皆さんへ】

- 住宅地や学校の近く、商店街など、道路わきに雪山がある場合には、その陰から横断してくる歩行者に備えた運転をしましょう。
また、吹雪や雪煙の中を横断する歩行者にも注意しましょう。
- 急ブレーキ、急ハンドル、急加速など「急」のつく運転をしないよう心がけましょう。
- 冬道の交差点付近は非常に滑りやすいアイスバーンになっています。
いつでも停止できる態勢で交差点に接近し、安全を確かめて走行することが大切です。
- 下り坂やカーブの手前ではあらかじめ十分に減速しましょう。
- 「疲れ」を感じた時は、運転を中止して休憩し、居眠り運転やうっかりぼんやり運転による交通事故を防止しましょう。
- シートベルトはもしもの時の命綱です。
「近所までだから」、「慣れている道だから」と油断せず、後部座席を含めたすべての座席でシートベルトを必ず着用しましょう。
また、6歳未満の幼児を乗車させる時は、必ずお子さまの体格にあったチャイルドシートをしつかりと取り付け、ゆるみなどが生じないように着用させましょう。
- デイ・ライト（昼間点灯）は自らの車の存在を他の車両や歩行者、自転車の利用者に目立たせることにより、交通事故の防止を図る効果が期待できるので、率先して実践しましょう。
- 夜間、先行車や対向車がないときは、ライトをハイビームにしましょう。
- 飲酒運転は重大な犯罪です。飲酒が予想される場所には車で出かけないようにしましょう。
また、周りの皆さんも運転者が飲酒することのないよう注意しましょう。
- 北海道では「飲酒運転根絶ロゴマーク」を作成して飲酒運転の根絶に向けた取り組みを進めています。これは北海道と道路標識をモチーフとした車の中に、「お酒」と飲酒運転根絶の願いを込めた「NO!」の文字を盛り込んだデザインとなっています。
飲酒運転根絶ロゴマークの使用をご希望の方は公益社団法人北海道交通安全推進委員会のホームページから申し込んでください。（原則無料です。）

【歩行者の皆さんへ】

- 夜間に外出するときは、明るい色の服装と夜光反射材を着用しましょう。
- 道路を横断しようとしている子どもや高齢者を見かけたときは、積極的に声をかけるなど、安全に誘導してあげましょう。
- 道路やその付近で遊ぶ子どもを見かけたときは、安全な場所で遊ぶように声をかけ、子どもを交通事故から守りましょう。

